



旧見付学校だより vol. 85

平成 30 年 1 月 23 日

見付学校より古い坊中学校

旧見付学校は、現存する木造擬洋風小学校校舎としては日本一古い建物です。では現存していない校舎ではどうでしょう。

明治5年の学制発布から1年ほどの準備期間を経て、明治6年に次々に学校ができていきますが、校舎を作る時間や経済的な余裕がなく、お寺などで開校しています。



確かな記録がないのではっきりとは言えませんが、坊中学校（磐田市鎌田）は明治5年10月に開校し、市内では一番早く開校しています。新校舎の建築にも一早く取りかかり、旧見付学校よりも4ヶ月早い明治8年4月に落成しています。校舎は2階建てで、玄関部分だけが3階建の当時としては大変珍しいペンキ塗りの校舎でした。建築費用は全ていおうじ医王寺住職まつわらじゅんこう松村 淳 高氏の寄付によるものでした。しかし、明治42年12月25日、惜しいことに、坊中学校は焼失しました。もしも現存していれば日本一古いという称号は坊中学校のものだったでしょう。

旧見付学校では、明治・大正時代の教科書をはじめ、通信簿、卒業証書、学用品、教材等を展示しています。明治時代の雰囲気味わってみませんか？ 職員一同お待ちしております。

〒438-0086 磐田市見付 2452

磐田市旧見付学校 TEL&FAX 0538-32-4511

（休館日：月曜、祝日の翌日、年末年始）

1月の休館日：1/29 2月の休館日：2/5、2/13、2/19、2/26